

令和2年度 岩崎地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

ケアプラザは6連合地区（保土ヶ谷地区・保土ヶ谷南部地区・保土ヶ谷中地区・岩井町原地区・保土ヶ谷東部地区・岩間地区）の広域エリアを担当しています。各地区で課題等はありませんが特に高齢化率の上昇、高齢者単身世帯の増加により今まで以上に地域支援が必要とされている現状の中、地域福祉保健計画の地区別計画の策定や地域との顔の見える関係づくりの推進、関係機関との連携強化を図っていく必要があります。地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした話し合いの場やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、子育て・障害者・高齢者を地域で支えるコミュニティ及びネットワークの構築を推進します。また横浜型地域包括ケアシステム構築のため、各団体等が地域の資源と課題を共有し、有機的な連携が図れるように支援する必要があります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	年1回以上の職員意向調査を兼ねた職員面接を実施する。 年2回以上実施する全体職員会議の中で倫理規定やコンプライアンスの遵守に関する研修を行い、組織全体で安全な業務遂行に取組む。 毎朝のミーティングで個人情報の取り扱い、基本ルールの厳守、健康管理の留意等の注意喚起を継続実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自主事業、傾聴講座の実施により担い手の発掘を行う。介護予防3Aのプログラムを取り入れた事業又は講座の開催により地域の中でリーダーとなれる人材の育成に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩崎サポートネットワークの周知や定期的な開催をすることにより団体間の関係性を深める。 既存のネットワークを活用し各グループ間の協力体制及び情報交換の場を設定し団体間の協力体制を引き続き強化・拡充していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩崎地域ケアプラザ主催でエリア内の往診専門医及び相談員、地域の診療所、ケアマネジャー、介護事業所、民生委員に呼びかけ、1年に1回程度の頻度で定期的に集まる機会を設け、実際の事例紹介を含め情報交換会を開催し連携強化を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	資源開発に繋がるよう6職種及び区社協、区役所と協働してインフォーマルサービスや地域の見守りネットワークができるように働きかけを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和2年度横浜市岩崎地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で対応します。 ・職員が公正・中立でなければならないことを理解している。 ・個別支援にあたり、サービスが特定事業者に偏らないように配慮します。 ・利用者本人、家族の意思を尊重していきます。 ・利用者に事業所一覧を提示する等、複数の選択肢があることを説明します。 ・年1回以上の利用者アンケートの実施を行います。	法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めていきます。 ・毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施します。 ・チェックリスト(別紙)を用いて定期的に自己点検を実施します。 ・個人情報の重要性を認識し適切な取得、利用、提供、管理します。 ・予め予測できる危険については積極的に対処していきます。 ・事件・事故等が発生した場合、迅速な報告、適切な対応に努めます。
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいるような計画を作成し、実行していきます。	利用者の心身の状況、生活環境に応じてご本人が自立した生活が送れるよう、各関係機関と連携を図りながら、適切な計画を作成する。また月4回の会議を実施したり、他事業所と事例検討会を行い処遇困難ケースについての方針を話し合ったり、各ケースの問題点を検討し、質の高いサービスを提供していきます。
職員体制	主任介護支援専門員(管理者兼務:1名):1名<加配分1名増員予定> 保健師職:2名 社会福祉士:2名	主任介護支援専門員(管理者):1名(兼務) 主任介護支援専門員:1名(専従) 介護支援専門員:1名(専従)<1名増員予定>
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	介護支援専門員や他事業所と綿密な連携をとり、ご利用者様が自立・安定した生活が送れるよう、状態を把握し、身体状況の維持・向上を図ります。個別機能訓練(通所介護対象)では、ご希望者対象にご本人様・ご家族様の要望に沿った目標・プログラムを作成し個別メニューで実施します。		
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週7日 <b>【提供時間】</b> 9:00~16:30 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
利用料金・実費負担	●通所介護 1割負担分 要介護1 695円 要介護2 820円 要介護3 951円 要介護4 1081円 要介護5 1212円 サービス提供体制加算 20円 中重度者77体制強化加算 49円 ●介護予防・第1号 1割負担分 事業対象者 1755円 要支援1 1755円 要支援2 3693円 サービス提供体制加算 要支援1 78円 要支援2 155円 食費負担 800円 介護職員処遇改善加算 総単位数×4.3% 介護職員特定処遇改善加算 総単位数×1.2%		
職員体制	管理者 1名 生活相談員(介護職員兼務) 5名 看護師 4名 介護職員 8名 運転手 2名 栄養士 1名 調理員 3名		
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和2年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,545,191		16,545,191		16,545,191	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	46,400		46,400		46,400	
雑入	129,997	0	129,997	0	129,997	
印刷代	105,000		105,000		105,000	
自動販売機手数料	22,708		22,708		22,708	
その他	2,289		2,289		2,289	
その他	3,692,858		3,692,858		3,692,858	
収入合計	20,414,446	0	20,414,446	0	20,414,446	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,900,000	0	10,900,000	0	10,900,000	
本俸	7,473,000		7,473,000		7,473,000	
社会保険料	811,000		811,000		811,000	
手当計	2,440,000		2,440,000		2,440,000	
健康診断費	22,000		22,000		22,000	
勤労者福祉共済掛金	32,000		32,000		32,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	106,000		106,000		106,000	
その他	16,000		16,000		16,000	
事務費	1,034,000	0	1,034,000	0	1,034,000	
旅費	8,000		8,000		8,000	
消耗品費	120,000		120,000		120,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	151,000		151,000		151,000	
通信費	352,000		352,000		352,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	42,000		42,000		42,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000		60,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	52,000		52,000		52,000	
リース料	88,000		88,000		88,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	156,000		156,000		156,000	
事業費	540,049	0	540,049	0	540,049	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	498,049		498,049		498,049	
その他	0		0		0	
管理費	6,200,000	0	6,200,000	0	6,200,000	
光熱水費	3,906,000		3,906,000		3,906,000	
清掃費	540,000		540,000		540,000	
機械警備費	150,000		150,000		150,000	
設備保全費	775,000	0	775,000	0	775,000	
空調衛生設備保守	275,000		275,000		275,000	
消防設備保守	45,000		45,000		45,000	
電気設備保守	80,000		80,000		80,000	
害虫駆除清掃保守	25,000		25,000		25,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	350,000		350,000		350,000	
共益費	0		0		0	
その他	829,000		829,000		829,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,090,000	0	1,090,000	0	1,090,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,090,000		1,090,000		1,090,000	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	20,238,049	0	20,238,049	0	20,238,049	
差引	176,397	0	176,397	0	176,397	

自主事業費 収入	46,400	0	46,400	0	46,400	
自主事業費 支出	498,049	0	498,049	0	498,049	
自主事業 収支	△ 451,649	0	△ 451,649	0	△ 451,649	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	22,708	0	22,708	0	22,708	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	22,708	0	22,708	0	22,708	

\*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	40,245,815		40,245,815		40,245,815	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000		5,795,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	25,000		25,000		25,000	
雑入	56,645	0	56,645	0	56,645	
印刷代	50,000		50,000		50,000	
自動販売機手数料	6,036		6,036		6,036	
その他	609		609		609	
その他	0		0		0	
収入合計	46,276,460	0	46,276,460	0	46,276,460	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,486,000	0	40,486,000	0	40,486,000	
本俸	21,862,000		21,862,000		21,862,000	
社会保険料	5,020,000		5,020,000		5,020,000	
手当計	12,713,000		12,713,000		12,713,000	
健康診断費	99,000		99,000		99,000	
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000		54,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	688,000		688,000		688,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
事務費	2,490,000	0	2,490,000	0	2,490,000	
旅費	47,000		47,000		47,000	
消耗品費	173,000		173,000		173,000	
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	155,000		155,000		155,000	
通信費	380,000		380,000		380,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	110,000		110,000		110,000	
職員等研修費	16,000		16,000		16,000	
振込手数料	91,000		91,000		91,000	
リース料	615,000		615,000		615,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	903,000		903,000		903,000	
事業費	1,432,815	0	1,432,815	0	1,432,815	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	333,815		333,815		333,815	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	予算：指定額
その他	0		0		0	
管理費	1,660,000	0	1,660,000	0	1,660,000	
光熱水費	1,110,000		1,110,000		1,110,000	
清掃費	160,000		160,000		160,000	
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	214,000	0	214,000	0	214,000	
空調衛生設備保守	85,000		85,000		85,000	
消防設備保守	12,000		12,000		12,000	
電気設備保守	21,000		21,000		21,000	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000		6,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	90,000		90,000		90,000	
共益費	0		0		0	
その他	146,000		146,000		146,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	46,194,815	0	46,194,815	0	46,194,815	
差引	81,645	0	81,645	0	81,645	

自主事業費 収入	25,000	0	25,000	0	25,000	
自主事業費 支出	305,000	0	305,000	0	305,000	
自主事業 収支	△ 280,000	0	△ 280,000	0	△ 280,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	6,036	0	6,036	0	6,036	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	6,036	0	6,036	0	6,036	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市岩崎地域ケアプラザ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援・第1号介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護					
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	20,251		20,251	22,710		22,710	83,657		83,657			0
	その他	0	0	0	570	0	570	7,160	0	7,160	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	7,160		7,160			0
	認定調査	0		0	570		570	0		0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他	0		0	0		0	0		0			0
	<b>収入合計(A)</b>	20,251	0	20,251	23,280	0	23,280	90,817	0	90,817	0	0	0
支出	人件費	6,057		6,057	18,750		18,750	65,680		65,680			0
	事務費	100		100	1,300		1,300	2,425		2,425			0
	事業費	0		0	0		0	7,245		7,245			0
	管理費	100		100	1,475		1,475	9,108		9,108			0
	その他	13,529	0	13,529	105	0	105	5,399	0	5,399	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	5		5			0
	消費税	0		0	0		0	0		0			0
	介護予防プラン委託料	13,529		13,529	0		0	0		0			0
	積立金支出	0		0	0		0	790		790			0
	本部繰入金	0		0	0		0	4,500		4,500			0
			0			0			0			0	
その他	0		0	105		105	104		104			0	
	<b>支出合計(B)</b>	19,786	0	19,786	21,630	0	21,630	89,857	0	89,857	0	0	0
	<b>収支(A)-(B)</b>	<b>465</b>	<b>0</b>	<b>465</b>	<b>1,650</b>	<b>0</b>	<b>1,650</b>	<b>960</b>	<b>0</b>	<b>960</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	区内7包括主マネ合同ケアマネ連絡会	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	委託を受けていただいている事業所を始め地域のケアマネジャー対象に研修会を開催し、個々のケアマネジャーのスキルアップを図る。	6:事業者		4月栄養講座(透析患者の栄養指導、5月認知症の方のケアプラン(事例検討会)、6月失活症・高次機能障害の方の支援、9月虐待について(社協合同)、11月難治性疾患・神経難病について(ほぐがやケアネット主催)12月高齢介護員・看護員研修等について(2月市介護予防協議研修、3月若年性認知症について)		
2	区内7包括主マネ合同主任ケアマネ連絡会	平成29年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	区内主任ケアマネジャー対象に生活支援コーディネーターと地域包括ケアシステムについての研修会、グループワークを開催し、主任ケアマネジャーとしてのスキルアップを図る。	6:事業者		9月、1月、生活支援コーディネーターと共催で地域包括ケアシステムの構築に向け主任ケアマネジャーとして具体的にどのような活動をしていくかの研修及びグループワーク等予定		
3	多職種連携会議全体会	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員等)、地域の介護事業所(居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、通所介護事業所等)多職種の方々との連携強化を図る。	6:事業者		10月22日「意思決定支援(ACP)」について医療関係者(医師、歯科医師、看護師、薬剤師、区在宅医療相談室等)、介護事業者とともに講義及びグループワークを通じ連携を深める(詳細は未定)		
4	岩崎地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	担当エリアの民生委員の方と委託先のケアマネジャーに参加頂き、日頃お互いが困っていること等について意見交換とともに連携強化とともに地域包括システムの推進を図る。	6:事業者		各地区民生委員の交代が多くあったこともあり、顔合わせとともに日頃お互い困っていること、より連携を促したいこと等について意見交換会を年2回、9月、3月に開催予定。		
5	介護予防教室	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の普及・啓発を行い、セルフケアや介護予防グループへの参加を促す目的。	1:高齢者		転倒予防や筋力維持などの運動講座や歯磨き・誤嚥予防の口腔ケア、栄養状態の改善を図る栄養講座の全3回の教室を2地区で開催する。併せて、インフォーマルサービスの紹介も行い、介護予防の普及・啓発をする。		
6	3Aボランティア養成研修	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域で活動してくれる3Aボランティアの育成	1:高齢者		3A講師による講義や手技指導の講座を年1回10月に開催。		
7	ケアプラザ祭り健康ブース	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	若い世代から高齢者まで幅広い世代に健康づくりの取り組みが行えるように、健康・介護予防に興味関心を持ってもらうため	1:高齢者		ケアプラザ祭り開催時に実施。栄養士による栄養指導を行ったり、インフォーマルサービスの紹介を行うブースを設置する。		
8	自主活動グループ活動支援	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自主活動グループのスキルアップやモチベーション維持のため	1:高齢者		11月にきりりシニア塾として活動している2団体に対して体力測定や運動講座等を各団体1回開催。		
9	自主活動グループ立ち上げ支援	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	保土ヶ谷南部地区に自主活動グループの立ち上げに向けた意識付けをする。	5:地域		介護予防講座や3A講座を10月から3回実施し、自主活動グループ立ち上げを図る。		
10	ゆったりサロン(介護者のつどい)	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者及び介護に関心のある方を対象に、介護者支援・虐待防止・介護負担の軽減を図る。	5:地域		オープンサロン形式で介護の知識や情報を得ながら、思いを共有する場所の提供と施設見学や癒しなどのイベントの提供。年8回予定。		
11	権利擁護相談会	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度、金銭管理、遺言や相続など専門的要素が強い相談を身近に地域の方が利用することができる環境を整える。	5:地域		司法書士・行政書士を招いての個別相談会。年5回予定		
12	出張相談会	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域に出向き、地域の方々との相談を受ける事で身近な相談窓口としてのケアプラザを周知するとともに、保険制度や権利擁護等の普及啓発を行う。	5:地域		来所が難しい地域住民に対してケアプラザや地域包括支援センターを周知する。あわせて日常生活での困り事の相談を受け、必要な制度資源につなげる。狩場緑風荘/年6回 ヒルスほっこり茶房/年2回 他依頼があった際に随時		
13	権利擁護事業(セミナー)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の自己決定支援	1:高齢者		行政書士による、セミナー。エンディングノートも絡めながら、少人数で実施。参加者が知りたいことをその場で講師とのやり取りを行う。3回連続講座。		
14	キャラバンメイト連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワークの構築。	5:地域		認知症サポーター養成講座の開催に向けての調整や実施。年10回程度。		
15	認知症サポーター養成講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発	5:地域		認知症サポーター養成講座の実施。年4回程度		
16	出張講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防、介護保険制度、権利擁護の普及・啓発、ケアプラザの機能についての周知等	5:地域		・地域住民対象 ・会場 各自治会町内会館等 * 自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象に地域のニーズに応じた講座を実施		
17	ちくちくサロン	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	裁縫を通じた誰でも気軽に集まれる場のきっかけ作りおよび社会貢献(社会参加)	1:高齢者		・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ボランティアルーム ・年10回。毎月第3水曜日12~15時 オープンサロン形式にて実施 *年2~3回程度 地域の福祉施設への寄贈及び施設見学を実施		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	玄米ダンベル体操リターンズ	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域での体操をツールとした集える場の提供 自主的活動の普及・啓発(担い手養成・団体設立)	1:高齢者	5	・地域住民対象 ・会場 太陽の國ほ도가や ・年10回。毎月第3金曜日13時半～15時		
19	ダウン症の会	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ヒップホップダンスを通じたダウン症の子と保護者の集いの場を提供	2:障害児・者	5	・ダウン症の子と保護者対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ 多目的ホール ・年12回程度。毎月第1土曜日10～12時		
20	こどもランド	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の居場所作り 参加者同士(親と子)の交流の場を提供	3:養育者及び乳幼児	5	・未就園児の子と保護者対象 ・年22回程度。毎月第2月・第3土曜日10～14時 *内容によって区地域子育て支援拠点こっころ等と共催にて実施		
21	リズムあそび	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	リトミックを通じた発育促進 親子で集える場の提供と世代間交流	3:養育者及び乳幼児	5	・未就園児の子と保護者対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ 多目的ホール ・年9回程度。原則毎月第1水曜日10～11時半		
22	大人のヨガ教室	平成27年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	リラクソヨガを通じたコミュニティづくり 自主的活動に向けての普及・啓発 ケアプラザの周知	5:地域	1	・地域住民対象 ・会場 稚子町会館 ・年10回程度。毎月第3木曜日10時～11時半		
23	わくわく体操×とくく講座	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	岩井町原地区における住民の健康意識の向上を図る 今後も住民主体で継続的に活動していくためのキッカケ作り	1:高齢者	5	・岩井町原地区対象 ・会場 太陽の國ほ도가や ・年2回程度実施予定		
24	ブラザまつり	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まですべての年代の方々を対象としたお祭りを実施することで、地域の方々にケアプラザの周知をし、地域住民との顔の見える関係作りを構築することを目的とする。	5:地域	7	・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ・年1回程度実施予定		
25	福祉教育授業の参加	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	福祉教育を進めていく中で学齢児から地域福祉の事に興味をもってもらい将来の担い手育成へ繋げていくキッカケ作り	4:子ども・青少年	5	・区内在学の小中学生対象 ・会場 各小中学校 *地域ケアプラザの機能について・地域福祉について・高齢者疑似体験等 学年・世代によってテーマを変えた内容を実施する。		
26	ほっとフレンズ	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①普段は、学校と家庭の仕業に忙しな親に、「新たな出会いの場」生活経験を伝えたい場所「交流したりと時を過ごす活動の場」を提供する。 ②障がい児と健全な児童との交流を図る。 ③障がい児に理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④関係性や学校及び地域との協力関係を築き、区内の地域ケアプラザが、障がい児の笑顔における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。	2:障害児・者	4	・保土ヶ谷区内小学生～高校生の障がい児対象 ・年2回 *参加者とボランティアがペアになり、おまつりとイベント等を楽しめる内容で実施予定。		
27	ほ도가や区民まつりの参加	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域	5	福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。		
28	本陣フレンドシップデーの参加	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①地域住民や地区の役員が多数参加する祭りに参加させていただき、顔の見える関係づくりを行う。 ②地域ケアプラザが身近で気軽に相談・活動できる施設であることを周知する。 ③出張相談を兼ねて総合相談を受けると同時に地域ニーズ把握を目的とする。	5:地域	5	地域ケアプラザ周知ブースの設置		
29	身体障害者施設「たっぴほ도가やにこにこ祭」への参加	平成30年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	①地域住民や施設関係者が多数来場する地域施設の祭りに参加させていただき、顔の見える関係づくりを行う。 ②地域ケアプラザが身近で気軽に相談・活動できる施設であることを周知する。 ③誰もが抱い手になれるという観点から地域にある施設間の連携を深めることを目的とする。	2:障害児・者	5	地域ケアプラザ周知ブースの設置		
30	岩崎サポートネットワーク	平成26年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	貸室におけるの注意事項等の確認や団体間の交流および協力体制の構築 介護予防の普及・啓発、インフォーマルサービスの周知	7:その他	1	・地域住民、貸室代表者、ケアマネジャー等対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ・年1回実施予定。 *活動団体紹介および体験会の実施と関係機関等との情報交換会の実施		